

◀1998年 東京工業大学(前期)▶

1 $a > 0$ とし, x, y が 4 つの不等式 $x \geq 0, y \geq 0, 2x + 3y \leq 12, ax + \left(4 - \frac{3}{2}a\right)y \leq 8$ を同時にみたしているとする. このとき $x + y$ の最大値 $f(a)$ を求めよ.

2 R を隣りあう 2 辺の長さ a, b が $2a > b > a$ をみたす長方形とし, A を次の性質 (P) を持つ半径 x の円とする.

(P) R の内部にあって隣りあう 2 辺にだけ接する.

(1) 性質 (P) を持つ円で円 A に外接するものが 4 つ存在するために, 円 A の半径 x がみたすべき条件を a, b を使って表せ.

(2) x が (1) の条件をみたすとき, 円 A に外接する 4 つの円のうち 2 番目に大きい円を B とする. x が変化するとき円 A と円 B の面積の和の最小値を求めよ.

3

(1) $f(x) = \frac{2x-1}{x}$ とし, t を実数とする. すべての自然数 n に対し実数 $f_n(t)$ が $f_n(t) = f(f_{n-1}(t))$, $n = 1, 2, 3, \dots$, ただし, $f_0(t) = t$ によって帰納的に定義できるための t の条件を求めよ.

(2) $a \geq 1$ に対して, 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} n^2 \int_a^{a+\frac{1}{n}} (f_n(t) - 1) dt$ を求めよ.

4 楕円 $C: \frac{x^2}{a^2} + y^2 = 1$ ($a > 1$) 上に点 $A(a, 0)$ をとる. C 上の点 $B(p, q)$ ($q > 0$) における接線 l と線分 BA のなす角が, l と直線 $x = p$ のなす角に等しいとする. ただし, 2 直線のなす角は鋭角の方をとることとする.

(1) 座標 p を a で表せ.

(2) 極限值 $\lim_{a \rightarrow 1} p$ および $\lim_{a \rightarrow \infty} \frac{p}{a}$ を求めよ.

出題範囲と難易度

1 標準 II 図形と方程式

2 標準 II 微分積分

3 標準 III 積分法

4 標準 III 関数の極限・ C いろいろな曲線

略解**1**

$$f(a) = \begin{cases} 6 & (0 < a \leq \frac{4}{3}) \\ \frac{8}{a} & (\frac{4}{3} < a \leq \frac{8}{5}) \\ 5 & (\frac{8}{5} < a) \end{cases}$$

2 (1) $\frac{a}{2} + b - \sqrt{2ab} < x < \frac{a}{2}$

(2) $\frac{b^2}{8}\pi$

3 (1) $t \neq \frac{k-1}{k} \quad (k = 1, 2, 3, \dots)$

(2) $a = 1$ のとき, $1 - \log 2$, $a > 1$ のとき, 1

4 (1) $p = \frac{a(1 - \sqrt{a^4 - a^2 + 1})}{a^2 - 1}$

(2) $\lim_{a \rightarrow 1} p = -\frac{1}{2}$, $\lim_{a \rightarrow \infty} \frac{p}{a} = -1$